



第 82 卷 総目次

平成 11 (1999) 年

【論 說】

検非違使別当と使庁……………	前田 禎彦…一（一）
フランドル伯シャルル・ル・ボンの殉教……………	青谷 秀紀…一（二六）
産業報国運動の展開……………	及川 英二郎…一（六八）
紛争の中の教会……………	轟 木 広太郎…二（一六五）
一七世紀初頭ブハラの死地蘇生文書について……………	磯 貝 健 一…二（一九六）
朝鮮初期の笞杖刑について……………	矢 木 毅…二（二三三）
守護城下山口の形態と構造……………	山 村 亜 希…三（三一五）
中世後期ケルンにおける都市と教会……………	森 谷 美 幸…三（三五八）
満州事変と日英関係……………	宮 田 昌 明…三（三九〇）
朝鮮社会の近代的変容と女子日本留学……………	朴 宣 美…四（四八九）
第三共和政期のパリ市議会議員……………	長 井 伸 仁…四（五二五）
第二帝政期フランクフルトにおける住宅政策と家族扶助……………	北 村 陽 子…四（五六一）
中世末期フィレンツェの兄弟会……………	坂 上 政 美…四（五九三）
アトリー労働党政権の対外経済政策と植民地……………	山 口 育 人…四（六二四）
民主党の成立……………	三 川 讓 二…五（六六九）
足利義政親政期の財政再建……………	早 島 大 祐…五（七〇七）
ヴィクトリアン・ボビーの形成……………	林 田 敏 子…五（七三八）

バンドン会議と鳩山内閣……………	佐野方郁…五(七七〇)
七世紀における造瓦組織の発展……………	梶原義実…六(八四七)
チエスター伯ヒューとアングロノルマン王国……………	中村敦子…六(八八三)
一九世紀丹後宮津藩の漁政と漁場利用関係……………	東幸代…六(九一二)
馬建忠の朝鮮紀行……………	岡本隆司…六(九四〇)

【研究ノート】

鄯乾墓誌銘について……………	山本光朗…一(一〇二)
バンドン会議とアメリカ……………	佐野方郁…一(一二二)
龍山文化後期における玉器のひろがり……………	岡村秀典…二(二六七)
唐代後半の北辺における軍糧政策……………	丸橋充拓…三(四二四)
飛鳥・白鳳期における寺院の立地について……………	上杉和央…六(九七一)

【研究動向】

中世イタリアにおける領域構造論及び都市—農村関係論の課題……………	佐藤公美…三(四四五)
-----------------------------------	-------------

【学会動向】

【第一次国共合作の研究—現代中国を形成した二大勢力の出現】	
への石川禎浩氏の批判に答える……………	北村稔…五(八〇七)

【書評】

James S. Grubb : *Provincial Families of the Renaissance: Private and Public Life in the Veneto*

(ジ)エームズ・S・クラブ著『ルネサンス期の地方都市における家族

——ヴェネト地方における私的生活と公的生活——

藤内哲也……(一四四)

常松洋・南直人編『日常と犯罪——西洋近代における非合法行為』

北村昌史……(一五一)

北村稔著『第一次国共合作の研究——現代中国を形成した二大勢力の出現——』

石川禎浩……(二九四)

長志珠絵著『近代日本と国語ナシヨナリズム』

安田敏朗……(三〇二)

小林道彦著『日本の大陸政策 一八九五—一九一四』

高橋秀直……(四六六)

木畑洋一編『大英帝国と帝国意識——支配の深層を探る——』

金澤周作……(四七二)

吉川真司著『律令官僚制の研究』

玉井力……(八一六)

服部良久著『ドイツ中世の領邦と貴族』

山本伸二……(八三三)

林巳奈夫著『中国古玉器総説』

難波純子……(八三一)

間野英二著『パーブル・ナーマの研究』Ⅲ 訳注

近藤治……(九九六)

八百啓介著『近世オランダ貿易と鎖国』

藤田加代子……(一〇〇四)

【紹介】

藤摩秀登著『ブラハの異端者たち』

藤井真生……(六五九)

岡村秀典著『三角縁神獸鏡の時代』

森下章司……(八三九)

【訃報】

村田数之亮先生を偲ぶ

二(三〇八)

田村実造博士の訃

五(八三七)

【会 告】

平成十年度史学研究会大会・総会の報告	三 (四八〇)
理事会・評議会報告	四 (六六一)
史学研究会役員	四 (六六一)